

# 研究会日程

## 11月13日(金)

- 14:00 ~ 15:15 常任世話人会 (6F 第1会議室)  
15:30 ~ 16:45 世話人会 (6F 第3会議室)  
17:00 ~ 18:00 イブニングレクチャー (6F 臨床講堂)

司会：嶋田 紘

David J. Klein MD FRCP(C) MBA.

(Staff Physician, Critical Care Medicine, St. Michael's Hospital,  
Affiliate Scientist, Li Ka Shing Knowledge Institute,  
Assistant Professor of Medicine, University of Toronto.)

- 18:15 ~ 20:00 懇親会 (6F カフェテリア)

## 11月14日(土)

- 08:55 ~ 09:00 開会の辞 日本エンドトキシン研究会会長 嶋田 紘 会長  
09:00 ~ 09:40 一般演題 1~3 座長：高橋 愛樹・真船 健一  
09:40 ~ 11:10 シンポジウム S1~S5

「エンドトキシン測定に関する新たな知見」

座長：遠藤重厚・池田寿昭

- 11:15 ~ 11:35 受賞講演 司会：谷 徹  
13:00 ~ 13:50 一般演題 4~7 座長：島津 元秀・藤島清太郎  
13:50 ~ 14:40 一般演題 8~11 座長：高田春比古・菅井 桂雄  
14:40 ~ 15:30 一般演題 12~15 座長：丸山 征郎・長岡 功  
15:30 ~ 16:20 一般演題 16~19 座長：三宅 健介・高橋 徹  
16:20 ~ 17:00 一般演題 20~22 座長：小野 聡・小出 直樹  
17:00 ~ 17:10 閉会の辞 当番世話人：池田寿昭

11月13日(金) 17:00 ~ 18:00 (6F 臨床講堂)

イブニングレクチャー

司会：嶋田 紘 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 特認研究ディレクター)

David J. Klein MD FRCP(C) MBA.

(Staff Physician, Critical Care Medicine, St. Michael's Hospital, Affiliate Scientist, Li Ka Shing Knowledge Institute, Assistant Professor of Medicine, University of Toronto.)

「The role of endotoxin in critical illness: Measuring and Modulating Endotoxemia」

11月14日(土) 09:00 ~ 09:40

## 一般演題 1~3

座長：高橋 愛樹 (医療法人幕内会 山王台病院)

真船 健一 (国際医療福祉大学三田病院 消化器センター)

1. 非アルコール性脂肪性肝炎モデルにおけるクッパー細胞と自然免疫機能

○辻本 達寛、瓦谷 英人、北澤 利幸、藤本 正男、植村 正人、  
福井 博

(奈良県立医科大学 消化器・内分泌代謝内科)

2. アルコール性肝障害モデルラットに対するサイトカイン産生調整薬Y-40138  
の効果

○瓦谷 英人、辻本 達寛、北澤 利幸、藤本 正男、植村 正人、福井 博

(奈良県立医科大学 消化器・内分泌代謝内科)

3. 高脂肪食摂取マウスの蛋白レベル、mRNA レベルでみた Kupffer 細胞の TLR4  
発現について

○庄野 聡<sup>1</sup>、木下 学<sup>1</sup>、羽生 仁子<sup>1</sup>、小野 聡<sup>2</sup>、関 修司<sup>1</sup>

(防衛医科大学校 免疫微生物学<sup>1</sup>)

(防衛医科大学校防衛医学研究センター 外傷研究部門<sup>2</sup>)

11月14日(土) 09:40 ~ 11:10

シンポジウムS1 ~ S5 「エンドトキシン測定に関する新たな知見」

座長：遠藤 重厚 (岩手医科大学 救急医学講座)

池田 寿昭 (東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部)

S1. EAA(Endotoxin Activity Assay)と比濁時間法によるエンドトキシン測定に関する比較検討

○松本 尚也、鈴木 泰、柴田 繁啓、小鹿 雅博、高橋 学、  
稲田 捷也、遠藤 重厚  
(岩手医科大学 救急医学講座)

S2. Polymyxin B-immobilized fiber column - Direct hemoperfusion (PMX-DHP)の適応基準としての Endotoxin scattering photometry 法によるエンドトキシン値の有用性

○阪本 雄一郎<sup>1</sup>、益子 邦洋<sup>1</sup>、小幡 徹<sup>2</sup>、横田 裕行<sup>3</sup>  
(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター<sup>1</sup>)  
(財)微生物化学研究会 微生物化学研究センター<sup>2</sup>)  
(日本医科大学 救急医学<sup>3</sup>)

S3. エンドトキシン散乱測光法を用いた微量エンドトキシン値の測定とその臨床応用について

○高橋 学、小鹿 雅博、柴田 繁啓、松本 尚也、鈴木 泰、  
稲田 捷也、遠藤 重厚  
(岩手医科大学 救急医学講座)

S4. Endotoxin Activity Assay(EAA)の有用性

○安宅 一晃<sup>1</sup>、嶋岡 英輝<sup>1</sup>、木西 悠紀<sup>1</sup>、梅井 菜央<sup>1</sup>、  
管 健敬<sup>1</sup>、大塚 康義<sup>1</sup>、宇城 敦司<sup>1</sup>、徳平 夏子<sup>1</sup>、西 信一<sup>2</sup>  
(大阪市立総合医療センター 集中治療部<sup>1</sup>)  
(兵庫医科大学 集中治療医学教室<sup>2</sup>)

S 5. 消化器外科周術期における高感度エンドトキシン測定法による血中  
エンドトキシンの評価

○赤堀 浩也<sup>1</sup>、清水 智治<sup>1</sup>、山本 寛<sup>1</sup>、遠藤 善裕<sup>2</sup>、小幡 徹<sup>3</sup>、  
谷 徹<sup>1</sup>

(滋賀医科大学 外科学講座<sup>1</sup>)

(滋賀医科大学 臨床看護学講座<sup>2</sup>)

((財)微生物化学研究会 特定研究推進グループ<sup>3</sup>)

11月14日(土) 11:15 ~ 11:35

平成21年度日本エンドトキシン研究会 奨励賞受賞講演

司会：谷 徹(滋賀医科大学 外科学講座)

臨床系 受賞者

○青山 倫子(神戸大学保健学研究科 大学院・研究員)

エンドトキシン血症下免疫応答の性差におけるIL-18の役割の研究

11月14日(土) 13:00 ~ 13:50

一般演題 4~7

座長：島津 元秀（東京医科大学八王子医療センター 消化器外科）

藤島 清太郎（慶應義塾大学医学部 救急医学）

4. 重症患者 lipopolysaccharide (LPS)高感受性機序の解明：IL-18の免疫修飾作用

○藤島 清太郎、関根 和彦、林田 敬、宮木 大、葉季 久雄、

佐々木 淳一、相川 直樹、堀 進悟

（慶應義塾大学医学部 救急医学）

5. エンドトキシン血症下のリンパ球アポトーシスにおける Interleukin(IL)-18の役割

○渡邊 まり<sup>1</sup>、青山 倫子<sup>1</sup>、飯塚 宣仁<sup>1</sup>、三好 真琴<sup>1</sup>、宇佐美 眞<sup>1</sup>、

山田 太平<sup>2</sup>、橋本 篤徳<sup>2</sup>、上田 敬博<sup>2</sup>、小谷 穰治<sup>2</sup>

（神戸大学大学院 保健学研究科<sup>1</sup>）

（兵庫医科大学 救急災害医学講座<sup>2</sup>）

6. Lipopolysaccharide 刺激下で長期低温培養した内皮細胞での interleukin-8の蛋白産生と mRNA 発現の経時的変化

○櫻井 淳、木下 浩作、野田 彰浩、丹正 勝久

（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

7. Lipopolysaccharide 刺激下に低温培養した内皮細胞での IL-6 と IL-8 の mRNA の Actinomycin D による安定性変化の検討

○櫻井 淳、木下 浩作、野田 彰浩、丹正 勝久

（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

11月14日(土) 13:50 ~ 14:40

一般演題 8 ~ 11

座長：高田 春比古(東北大学大学院歯学研究科 口腔微生物学分野)  
菅井 桂雄(平山病院)

8. 絞扼性イレウスの補助診断としての SIRS の評価

○松尾 聡美<sup>1</sup>、寿美 哲生<sup>1</sup>、安田 祥浩<sup>1</sup>、石崎 哲央<sup>1</sup>、島津 元秀<sup>1</sup>、  
土田 明彦<sup>2</sup>、青木 達哉<sup>2</sup>

(東京医科大学八王子医療センター 消化器外科<sup>1</sup>)

(東京医科大学病院 外科学第三講座<sup>2</sup>)

9. 小胞体ストレスの SIRS 時の高血糖への関与について

○長谷川 輝、岩坂 日出男、今富 良太、萩原 聡、野口 隆之  
(大分大学医学部 麻酔科学講座)

10. 合成ビタミンD誘導体で前処理したヒト単球系 THP-1 細胞の自然免疫増強とそのメカニズム

○池内 友子<sup>1,2</sup>、中村 卓史<sup>2</sup>、福本 敏<sup>2</sup>、高田 春比古<sup>1</sup>

(東北大学大学院歯学研究科 口腔微生物学分野<sup>1</sup>)

(東北大学大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野<sup>2</sup>)

11. 菌体成分、特に合成リポペプチドならびにリポド A の鎮痛作用

○佐藤 匡<sup>1,2,3</sup>、遠藤 康男<sup>3</sup>、島内 英俊<sup>2</sup>、高田 春比古<sup>1</sup>

(東北大学大学院歯学研究科 口腔微生物学分野<sup>1</sup>)

(東北大学大学院歯学研究科 歯内歯周治療学分野<sup>2</sup>)

(東北大学大学院歯学研究科 口腔分子制御学<sup>3</sup>)

11月14日(土) 14:40 ~ 15:30

一般演題 12~ 15

座長：丸山 征郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学)

長岡 功(順天堂大学医学部 生化学・生体防御学)

12. 敗血症に対する免疫グロブリン製剤投与時の血中可溶性 E-selectin による有効性の検討

○須賀 弘泰<sup>1</sup>、中川 隆雄<sup>1</sup>、仁科 雅良<sup>1</sup>、出口 善純<sup>1</sup>、高橋 春樹<sup>1</sup>、  
小林 尊志<sup>1</sup>、佐藤 孝幸<sup>1</sup>、西久保 俊士<sup>1</sup>、増田 崇光<sup>1</sup>、岡嶋 研二<sup>2</sup>  
(東京女子医科大学東医療センター 救急医療科<sup>1</sup>)  
(名古屋市立大学大学院 医学研究科展開医科学分野<sup>2</sup>)

13. マクロファージ系細胞における TREM-1 の発現制御機構

○細田 浩司<sup>1</sup>、田村 弘志<sup>2</sup>、長岡 功<sup>1</sup>  
(順天堂大学医学部 生化学・生体防御学<sup>1</sup>)  
(生化学バイオビジネス(株)<sup>2</sup>)

14. HMGB1 のトロンビン・トロンボモジュリンによる制御機構

○川原 幸一、伊藤 隆史、橋口 照人、丸山 征郎  
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学)

15. 敗血症診断マーカーである可溶性 CD14 サブタイプの血漿と全血による比較検討

○小豆島 立頼、高橋 学、鈴木 泰、松本 尚也、小鹿 雅博、  
遠藤 重厚  
(岩手医科大学 救急医学講座)

11月14日(土) 15:30 ~ 16:20

一般演題 16~ 19

座長：三宅 健介(東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野)

高橋 徹(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学)

16. PAMPs に対するヒト末梢血単核球応答性の個人差の検討

○古見 嘉之、石橋 健一、安達 禎之、大野 尚仁

(東京薬科大学薬学部 免疫学教室)

17. 敗血症モデルでの病態形成におけるオートファジーの関与について

○今富 良太、岩坂 日出男、長谷川 輝、萩原 聡、野口 隆之

(大分大学医学部 麻酔科学講座)

18. 敗血症時のサイトカイン反応における病原関連分子パターンの役割に関する実験的検討

○小野 聡<sup>1</sup>、宮崎 裕美<sup>1</sup>、齋藤 大蔵<sup>1</sup>、辻本 広紀<sup>2</sup>、平木 修一<sup>2</sup>、  
高畑 りさ<sup>2</sup>、山本 順司<sup>2</sup>、長谷 和生<sup>2</sup>、木下 学<sup>3</sup>、庄野 聡<sup>3</sup>

(防衛医科大学校防衛医学研究センター 外傷研究部門<sup>1</sup>)

(防衛医科大学校 外科学<sup>2</sup>)

(防衛医科大学校 免疫微生物学<sup>3</sup>)

19. TLR4 リガンド構造変化による免疫応答への影響とその機構

○谷村 奈津子、斉藤 伸一郎、三宅 健介

(東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野)

11月14日(土) 16:20 ~ 17:00

一般演題 20 ~ 22

座長: 小野 聡 (防衛医科大学校防衛医学研究センター 外傷研究部門)

小出 直樹 (愛知医科大学 微生物・免疫学)

20. グルタミンは HO-1 誘導を介して自然免疫系の活性化を抑制し出血性ショック後の腸管障害を軽減する

○高橋 徹、井上 一由、清水 裕子、森松 博史、榎田 佳奈、  
片山 浩、森田 潔

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学)

21.  $\alpha$ -galactosylceramide を用いたエンドトキシンショックモデルにおける肺傷害へのサイトカインと NO の関与

○小出 直樹、横地 高志

(愛知医科大学 微生物・免疫学)

22. 熱傷侵襲下のエンドトキシン負荷による生体反応性の亢進

—Two-hit model による病態解析—

○佐々木 淳一<sup>1</sup>、藤島 清太郎<sup>2</sup>、関根 和彦<sup>2</sup>

(東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野<sup>1</sup>)

(慶應義塾大学医学部 救急医学<sup>2</sup>)